

ふるさとを愛し、夢を育み、子どもが主役の楽しい学校の創造



No.25

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyuu

Elementary School

令和7年3月17日

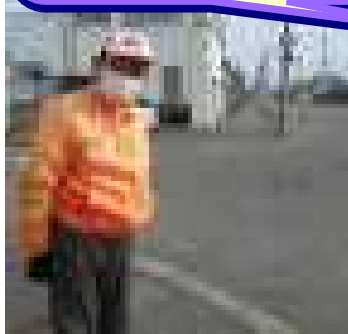


文責：田中善久

交通安全見守りボランティアの皆さま

1年間の登校日は、雨の日、風の日、雪の日、暑い夏も、寒さで震えてしまうような冬の朝もあります。

そのような中、毎日子供たちの安全な登校を見守り続けていただいた安全安心ボランティアの皆さま、ありがとうございました。黄色、オレンジのジャンパーを着た安全ボランティアの皆さまの姿を見かけると、ドライバーも減速したり、注意して運転をしてくれたりします。また、横断歩道を渡る子供たちも安全に気を付けて歩いています。子供たちの安全な登下校について、とても大きな力になっていただきました。一年間を通して毎日のように子供たちを見守り続けるということは、本当に大変なことであると思います。今年度も事故等が無く、安全に登校できました。安全安心ボランティアの皆さま、ありがとうございました。



PTA役員の皆さまPTA各部員の皆さま

3月10日(月)に今年度最後のPTA役員会を行いました。今年度の事業反省と次年度に向けて、話し合いました。大正小学校の教育活動はPTAのご協力の上に成り立っていることを痛感しております。じゃがまる農園活動、環境整備、教育講演会、ビニールハウスに学級農園、スケートリンクの造成と維持管理、じゃがまる文集、ベルマーク、交通安全見守り…。「すべては大正の子供たちのために!」という熱い思いが伝わりました。

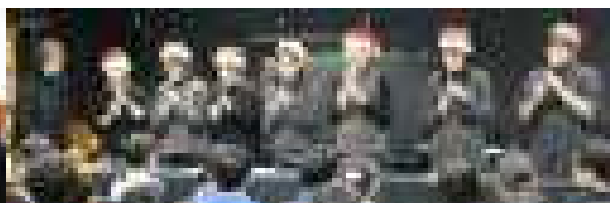
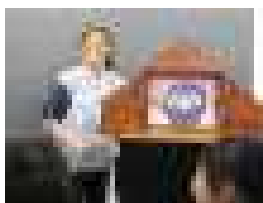
道端会長をはじめ、役員の皆さま、各部の皆さま、そしてPTA会員の皆さま、1年間ご協力ありがとうございました。



ありがとう
ございました

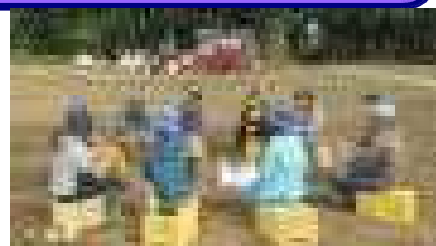
図書ボランティアの皆さま

一年間を通して、計画的に、図書館の整備、読み聞かせ、図書イベント等の企画・運営をしていただきました。継続的な取組が、子供たちの心を育てていく大きな力になっていると強く感じています。また、国語の読み取り、読解などの力にもつながっています。かぜるん紙芝居やブラックパネルシアターなどのクオリティの高さに驚いています。一番素敵なのは、図書ボラの皆さま、みんな笑顔で、気持ちがほっこりします!ありがとうございました。



農園委員会の皆さま

「大正JAGA育」の中核でもあり、大正小学校の特色のある教育活動の一つでもある「じゃがまる農園」での作物栽培活動。およそ3000㎡もある広ーい農園で緑り広げられる活動は、農園委員会の方々の多大なるご協力があってこそ貴重な体験ができます。できた作物を収穫する子供たちの嬉しそうな顔は、皆さまのおかげです。ありがとうございました。



1年間の成長を感じる春



季節の移り変わりとともに、子供たちは1年間の学びを終え、新しい学年へと歩みを進める時期が近付いてきました。この1年間で、子供たちは自分のどこが伸びたと感じているでしょうか。前号でもお知らせしましたが、6年生が3月3日の「大正YUME」で中学3年生から講話を聞いたときの出来事です。「最後に校長先生からのお話です」と言われ、私が話を始めようとする、スッと話を聞く姿勢になりました。そして6年生全員がキラキラした目で話をしている私の方を見て聴いていました。昨年度の学校だよりでも書きましたが、聴くという字は「耳+目+心」なのです。6年生にそのような話は必要ありませんでした。素晴らしい成長の跡がうかがえました。この場面だけを切り取ってみても、この1年間で子供たちが成長した様子がよく表れています。

私が、この1年間で子供たちのすごいなと思ったことをいくつかあげてみました。

- ・朝のあいさつ 元気な声だけでなく、立ち止まって丁寧に挨拶をする子もいます。心を込めることを学んでいます。
- ・全体での集合時の姿。おしゃべりがなく、聞く姿勢が自然にできる子が多くなりました。
- ・本番に見せる集中力。各行事や学習のまとめの発表など、本番に見せる本気の姿と集中力には脱帽です。見る人が感動させるパワーを常に発揮してきました。

どの子も新しい学年になって新しい学びを続けてきたわけですから、1年前と比べると、知識はぐんと増えたはず。さらには、その知識を基に考えを深める力も伸びているはずです。また、体力づくりを頑張った子もいるでしょう。できないことができるようになった喜びは一生忘れられないものです。こうした姿の背景には、子供たちの「努力」があります。努力をすれば必ず願った成果が出るかというと、そうではないこともあり、すぐに結果に表れないこともあります。しかし、努力については、次のような言葉があります。

「努力して結果が出ると、自信になる。」「努力せず結果が出ると、傲（おご）りになる。」「努力せず結果も出ないと、後悔が残る。」「努力して結果が出ないとしても、経験が残る。」

これらの言葉は、人を励まし、人を戒め、前向きに努力する大切さを物語っています。この1年間の子供たちの歩みは、努力の表れです。そして、目には見えなくても、それが次へのつばみのような形で経験として残っているものもあります。子供たちの姿を、そんな目で見守り、努力をした過程を褒めることが大切なのだと感じました。ある子が校長室に来て「校長先生、3学期のはじまりにお話ししてくれた「宮崎駿さんと水木しげるさんのお話」、心に残ったよ。

宮崎駿さんは、仕事をするとときに『めんどくさい、めんどくさい』と思いながらするそうです。

『世の中の大事なことは、だいたいめんどくさいものなんだよ』と語っております。

水木しげるさんは、『苦しむことから逃げちゃいかん』と生前言っていたそうです。

『幸せや成功はかんたんには手に入らない。つらい努力をのりこえてこそ成功や幸せが待っている』『皆さん、3学期は自分のめあてに向かってめんどくさくてもつらくても、努力をしよう！』という内容の話

と言ってくれました。心に響く子供たちだからこそ、しっかりとした成果が出るのでしょうか。大正っ子たちの1年間の成長を感じて令和6年度の教育活動を締めくくりたいと思います。誠にありがとうございました。次号は最終号です。